お知らせ

十月例会

・期日　立教175年10月25日
・時間　15時半受付　16時開始
・場所　教庁４階講堂

学生層育成者講習会 日程・会場案内

【教区】
・滋賀　10月2日11時30分～　教務支庁
・岡山　10月2日11時～　教務支庁
・佐賀　10月2日13時～　教務支庁
・山口　10月3日10時～　教務支庁

【直属】
・都賀　10月21日12時～　大教会
・名東　10月22日12時～　大教会
・本島　10月25日18時30分～　詰所

報告

八月例会

去る8月25日教庁４階講堂に於いて「八月例会」を開催。出席は42教区、101直属。

業務記録

《立教175年8月16日～9月15日》

8月21日　台湾学生会との交流会
22日　「Happist」納品
23日　「Happist」梱包
24日　広報室会議
25日　委員会
　　例会
　　ＨＡＲＰ新刊本作成チーム会議
　　担当者活動部部会
26日　出版部部会
27日　学修高校の部研究室会議
30日　まなびばプログラムチーム会議
9月1日　要員育成室会議
13日　ビデオチーム会議
　　屋外プログラムチーム会議
　　人材育成部部会
　　学生連絡会
14日　委員会
　　まなびば研究室会議
　　ＨＡＲＰ新刊本作成チーム会議
　　学修部部会
　　出版部部会
　　学生会50周年プロジェクト会議
15日　学修大学の部研究室会議

TSA
http://tsa.tenrikyo.or.jp

GAKUSEI TANTOUSHA HOU
学生担当者報10
通巻308号
発行/天理教学生担当委員会　発行責任者 田中善吉　編集責任者 岩佐円秋
TEL/0743-63-1511(内線)5817　(直通)0743-63-2489
FAX/0743-62-5780　E-Mail/tsa@tenrikyo.jp
立教175年　平成24年9月25日発行

十一月二十五日、学生担当者大会へ

担当者活動部　部長
長﨑　宏治

「今、こうしてお道を通らせていただいているのは、あの時、学修に参加したからです」

「教区の学生会に誘ってもらったからこそ、今の自分があります」

自分自身が信仰に目覚めたきっかけを、こんなふうに振り返る若いようぼくが、きっと皆様方の周りにもおられると思います。

あの時、学修に参加することができたのは、教会の会長さん、あるいは奥さんでしょうか、どなたかが「おぢばで、こんな行事があるよ」と声をかけてくださったから。そしてその元には、主に直属の担当者の働きかけが必ずあったはずだと思います。

また、教区や直属などの学生会は、毎年委員長をはじめメンバーが替わるという状況にも関わらず、「道を求める」という根幹は全くブレることなく現在に至っていますが、これについても、学生たちの成人を心から願いつつ、つかず離れず丹精し続ける担当者がいればこそと思います。学生担当者の意識、そしてその一つ一つの動きが、学生会活動の更なる活性化を促し、また道の学生層育成を大きく後押しする。これは間違いのないことです。

真柱様は、昨年の「学生担当者大会」において、学生担当者の使命は「学生会活動をバックアップするとともに、道の将来を担う学生が世界たすけのようぼくとして成人するための世話取りをすること」と改めてご明示くださいました。こうした使命感を持つ育成者がたとえ僅かずつでも増加し、その意識を高めていくことができれば、教祖百三十年祭に向かって一層充実した活動を推し進めることができるはずです。

その為にも、「学生担当者大会」へは、その対象となる全ての方々にご参集いただきたい。教区・直属それぞれの委員会が、学生担当者の総会とも言えるこの大会に挙って参加することで、新たな一歩を踏み出す御守護を必ず頂戴できる、そう確信します。

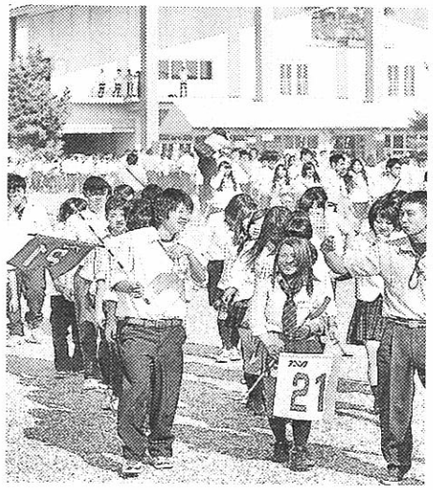
毎年「春の学生おぢばがえり」を前に、学生たちは、一人でも多くの友と信仰の喜びを分かち合いたい、未信者の学生にもお道の素晴らしさを伝えたいと、教会を回り、またあちこちに声がけをします。総会を機に、道を歩む「仲間」の輪が広がるようにと頑張ってくれています。

私たち担当者も、学生層育成に携わる「仲間」の輪の広がりを願って、大会に向け、しっかりと動員に取り組ませていただきましょう。

平成24年度 学生担当委員会 活動方針
『学生に信仰の喜びを伝え、立派なようぼくに育つよう丹精しよう』

学生生徒修養会高校の部　受講生感想文

Gakushu in Summer 2012



●自分は結構人見知りで、今まではあまり初対面の人と話すのは得意ではなかったんですが、学修ではすぐに仲良くなれました。

全ての行事が心に残っていて、正直言って帰りたくないです。仲間とも別れたくないです。こんな思いになれたのも、親神様が普段から見守ってくださっていて、このおぢばに、この学修に、この仲間に引き寄せてくださったからだと思います。

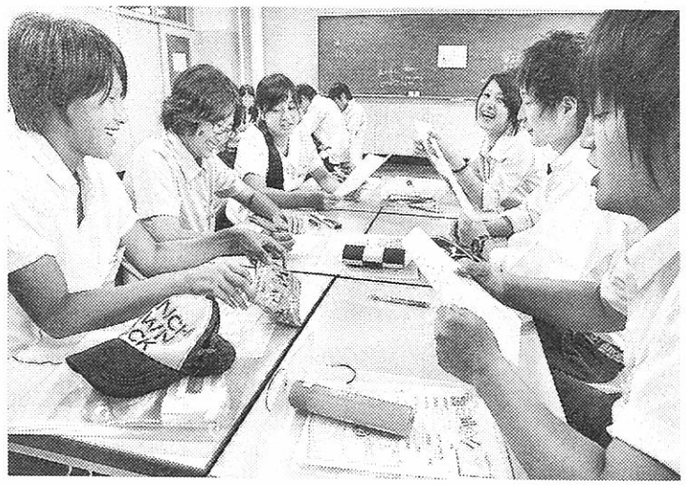
この期間中に、班員が身上になりました。これも自分たちが成長するために、親神様が見せてくださった『ふし』だと思います。そのおかげで、改めて人のためにお願いする真心の大切さを学ばせていただきました。

本当に学修に参加させていただいて良かったです。お世話になりました。ありがとうございました。

（一回生　男子）

●今年の学修は、自分を見つめ直す大切な一週間になりました。感謝の気持ちを忘れがちな普段の自分は、感謝の気持ちを忘れがちだったし、お道の子としてまだまだでした。

それが班のみんなと出会って、物事の見方に少し奥行きが出たというか、一つの物事にお道の子としてどのように考えれば良いのか、学べた気がします。



特に信仰を語る会では、みんなの体験を知り、涙が止まりませんでした。そして、

私はとても恵まれていることにも気づくことができました。

「水を飲めば水の味がする」そんなことにも感謝ができるように、日々どんなことも喜んで通るようにしたいと思います。

この一週間は自分にとって本当に大切な一週間になりました。もっとお道につながりたいと思えました。

私が学修に参加できるように、関わってくれた方々、そして出会えた仲間に感謝の気持ちでいっぱいです。本当に本当にありがとう。

（二回生　女子）

●人と接するには常に低い心でいること。自分よりも人のことを考え、周りを気にしてあげようと強く思った。

お道に対しても天理教がただ大好きというのだけでなく、もっと深く勉強して、学んではじめてお道が好きと言えるようになりたい。

学修の仲間は一生の友達であり、これからもつながっていく友達であるから、たとえ離ればなれになっても忘れないで、一緒に過ごした楽しい時間を思い出しながら、生活していきたい。

辛い時、悩んでいる時はおつとめをして親神様にたすけていただきたいと思った。

もう学修に参加はできないけど、おぢばで過ごした三回の学修は、とてもいい経験だから、私生活でも活かしていきたい。

「ありがたいなぁ」

「けっこうやなぁ」

「人をたすけたいなぁ」

この三信条を胸に日々を通らせていただきたい。ずっとお道につながって、いろんな人に信仰の喜びを伝えていきたいと思いました。

（三回生　女子）

学生生徒修養会高校の部　一回生一年生講師感想文

Gakushu in Summer 2012

●私は今回、講師として初めて学修で勤めさせていただきました。自分が学生のときには、学修や学生会活動に参加したことがなかったので、何もわからず不安でした。

六月二十四、二十五日の事前研修会に参加させていただき、まず驚いたのは事前研修会での他の方々の真剣な姿勢でした。まだ学修までの期間があるにも関わらず、すぐ目の前に生徒がいるかのようで、自分も心してつとめさせていただかなければならないと思いました。

充分な準備ができないまま迎えた学修本番。初めて生徒と対面したときの緊張感は何とも言えないものでした。最初のクラスミーティングではあがってしまい、時間管理もできず、用意してきたＢＧＭもかけ忘れてしまうほどでした。

聞いてくれるかどうか心配したレクチャーは、始まってみると夢中で話している自分がいました。素直に聞いてくれている姿に感動するとともに、自分の責任の大きさを改めて感じました。また「走って！笑って！一手一つ」では、身上・事情を抱えて参加している生徒たちが協力し合い、クラスが一つになっている姿を見たときには本当に感激しました。生徒と顔を合わせるたびに、一人ひとりの良さが見つかり、教室に行くのが不安から楽しみへと変わっていきました。

私が期間を通して一番ありがたいと思えたことは、乾隅棟の教室で男子生徒におさづけを取り次がせていただいたときでした。五階の窓から教祖殿を拝したとき、何とも言えない気持ちになり、「ご存命の教祖に包まれて、今この場でご用をさせていただいているんだ」と思えたからです。生徒に教える立場を頂き、精一杯つとめさせていただきましたが、自分が親神様・教祖にお育ていただいているということが分かりました。

毎日、講師寮の寮長先生からお聞かせいただいたお話が、日ごとに経験を通してよく分からせていただけました。また、寮で講師の方々の学修への取り組み方、信仰姿勢なども大変勉強させていただきました。届かないつとめでしたが、本当に自分の心を磨いていただいた尊い一週間だったと思います。ありがとうございました。

台湾学生会おぢばがえり交流会報告

台湾学生会から二十七名の学生が、八月十六日から二十八日にかけておぢばに帰参しました。その六日目の二十一日に、天理大学の講堂にておぢばの学生十一名と交流会を行い、室内オリンピック、ＨＡＲＰのエクササイズ、レクリエーションダンスなどを通して、言葉の壁を乗り越えながら、大いに交流を深めました。

まず最初に、ウォーミングアップ、秋岡学生部長の挨拶の後、台湾と日本の学生混合の班が六つの競技を楽しみました。

様々な競技を一手一つに協力し合うことで、言葉の壁を越えて一緒になって盛り上がり、終始会場内は笑顔が絶えませんでした。競技終了後に結果発表を行い、順位に関わらず互いの健闘を称え合い拍手する学生の姿に、会場全体がとても和気藹々とした雰囲気に包まれました。

昼食後、ＨＡＲＰエクササイズの「プレゼントオブピース」を行いました。このエクササイズは、一人ひとりに配られた様々な図形を組み合わせて正方形を作るもので、学生たちは、言葉は通じずとも身体を使ってコミュニケーションをとることで、とても早いペースで正方形を完成させました。十五時には、この日おぢばで研修を行っていた近畿ブロックの学生約四十名が合流し、全員でレクリエーションダンスを踊りました。合流した近畿ブロックの学生たちでしたが、会場の和気藹々とした雰囲気によって、すぐに打ち解け、大盛り上がりでダンスを踊り、台湾の学生と交流を深めました。

交流会の最後には、セレモニーを行いました。まず、台湾の東原学生担当委員長から「出会いには、必ず意味があるので、この出会いを大切にして欲しい」との挨拶があり、続いて、交流の印としてプレゼント交換を行い、それぞれの学生の代表がお礼の言葉を述べました。その中で台湾の学生代表は、「この交流会は、私たちにとって大切な行事です。いつも楽しい交流会をありがとうございます」と、日本の学生や担当者に感謝を伝えました。最後に「灯～akari～」を全員で合唱した後、日本の学生が台湾の学生を見送り、交流会は幕を閉じました。

大学生の集い　ワーク&トーク　開催報告

Work&Talk　2012

二日間となりました。

山名幼稚園で「朝起き、正直、働き」をテーマにした寸劇を行うなど、真剣にプログラムに取り組む姿勢が見受けられました。最後に各コースで全体発表を行い、笑いを交えながら二日間で学んだことや、班内でねりあった結果などを発表しました。

今回のテーマである「成人への歩み」について、さまざまな角度から見つめることのできた素晴らしいワーク&トークとなりました。

～四国ブロック報告～

九月八日から九日、名東大教会を会場に「四国ブロック大学生の集いワーク&トーク2012 in徳島」が開催されました。

今回、四国ブロックは初開催でしたが、事前からワーク&トーク開催に向けての会議が重ねられ、当日は、十三名の学生が参加しました。

『出会い』という全体テーマのもと、二つの班に分かれ、ねりあいや講話などテーマに沿ったプログラムが進められました。

初日には、班ごとで「二十一面相」や「ライフライン」など、過去、現在、未来の自分を見つめ直し、それをもとに天理教との出会い、学生会活動との出会いについてねりあいました。二日目には、学生部片山委員が、『出会い』をテーマに父との山会い、祖父との出会い、信仰との出会いなど、自身の経験談をもとに、わかりやすくお話しくださいました。

また、来年の開催に向けてのねりあいも行い、開催地は未定ながらも積極的に学生中心で開催できるよう話し合いました。

参加した学生は、終始笑顔で今回の出会いに感謝していました。普段、何気なく出会っている物事に感謝し、それを大切にしていくことを誓い合った、大変有意義な二日間となりました。

～東北ブロック報告～

九月一日から二日、国立南蔵王青少年野営場を会場に「東北ブロック大学生の集いワーク&トーク2012 in宮城」が開催され、学生十二名が参加しました。

今回は「親神様のふところ住まい～火水風のご守護～」をテーマとして、二班に分かれてねりあいを重ねました。

初めは緊張していた参加者も、レクリエーションを取り入れた食事会などを通じて、徐々に打ち解け、充実したねりあいへとつながりました。最後に全体発表の時間が持たれ、テーマについて班内でねりあった内容を発表しました。

期間中雨が多く、野外での活動はほとんどできませんでしたが、その分、時折のぞく太陽のありがたさを感じることのできた

～東海ブロック報告～

八月二十八日から二十九日、天理教山名大教会を会場に「東海ブロック大学生の集いワーク&トーク2012 in袋井」が開催されました。

当日は五十一名の学生が参加。『成人の歩み』をテーマに、講話や、六つの班に分かれてのねりあいなど、それぞれの意見を真剣に話し合いました。

今回、東海ブロックでは、事前からブロック内の担当委員とコースを担当する学生で会議を重ね、入念なプログラム作りに努めてきました。

参加した学生は、浜松駅、袋井駅周辺での神名流しや、海岸での清掃ひのきしん、

加しました。

『出会い』という全体テーマのもと、二つの班に分かれ、ねりあいや講話などテーマに沿ったプログラムが進められました。

初日には、班ごとで「二十一面相」や「ライフライン」など、過去、現在、未来の自分を見つめ直し、それをもとに天理教との出会い、学生会活動との出会いについてねりあいました。二日目には、学生部片山委員が、『出会い』をテーマに父との山会い、祖父との出会い、信仰との出会いなど、自身の経験談をもとに、わかりやすくお話しくださいました。

また、来年の開催に向けてのねりあいも行い、開催地は未定ながらも積極的に学生中心で開催できるよう話し合いました。

参加した学生は、終始笑顔で今回の出会いに感謝していました。普段、何気なく出会っている物事に感謝し、それを大切にしていくことを誓い合った、大変有意義な二日間となりました。

～九州ブロック報告～

八月二十九日から三十日、長崎教務支庁を会場に「九州ブロック大学生の集いワーク&トーク2012 in長崎」が開催され、二十一名の学生が参加しました。

一日目は、長崎教区長の田邊先生から、感謝について親神様のご守護と照らし合わせた講話をいただき、その後にねりあいが行われ、参加した学生たちは講話やねりあいを通して、『感謝』の意味を様々な視点から見つめ直すことができました。

二日目は、神名流しを行いました。参加した学生の中には、初めて神名流しをする学生もおり、始める前は緊張した面持ちでしたが、開始してみると勇んで神名を流す学生たちの姿がありました。

参加した学生たちは、普段あまり話す機会の少ないお道の学生と深く話し合うことができ、大変有意義な時間を過ごしていました。

●参加者の声

同年代の人たちとお道や学生会について、自分の体験や考えを言ったり、聞いたりして、普段ではできない貴重な経験ができました。一人ひとりの信仰についてもテーマの『出会い』に触れながら、色々な話を聞くことができ、また自分の悩みや不安についてアドバイスだったり、共感だったりと同じような経験をしている人もいて、打ち明けることもできました。今後、進んでいく先の方向も見えてきたのでよかったです。

初めての人ばかりで、緊張もしましたが、グループタイムやひのきしんを通して仲良くなることができました。四国ブロックは今年が初開催でしたが、来年以降も開催するなら、ぜひ参加したいと思います。今回のワーク&トークで今の自分に足りない点がしっかりと見えてきて、今後の学生会活動につなげていくことができると思います。本当に参加してよかったです。

（四国ブロック　大学一年　男子）

平成24年度「ＨＡＲＰ研修会」募集

日々は学生層育成の上にご丹精くださりありがとうございます。

この度、下記の通り「ＨＡＲＰ研修会」を開催いたします。今回の研修会では、〈ＨＡＲＰ体験コース〉・〈ＨＡＲＰトレーナーコース〉・〈ＨＡＲＰプログラミングコース〉を開催いたします。

学生層育成を担う人材づくり、各種育成行事の充実を図る上に、是非とも奮ってご受講ください。

記

◎日　時　　立教１７５年１１月２７日(火)～２９日(木)
集合：２７日　　９時００分　本部第１２母屋
解散：２９日　１１時３０分　本部第１２母屋

◎会　場　　本部第１２母屋、本部第７・８・９母屋

◎定　員　　・ＨＡＲＰ体験コース……５０名
・ＨＡＲＰトレーナーコース……４０名
・ＨＡＲＰプログラミングコース…１５名

◎受講費　　４，０００円

◎携行品　　ハッピ、保険証、その他合宿に必要なもの。
女性の方はズボン着用でご集合ください。
ＨＡＲＰトレーナーコースは、『ＨＡＲＰ～確かな理解とその使い方～』をご持参ください。
当日会場でも頒布します（頒価５００円）

◎ コース内容

◆ＨＡＲＰ体験コース
ねらい：ＨＡＲＰの有効性を体感してもらう
内　容：エクササイズ体験、講義
対象者：ＨＡＲＰ研修会の受講経験の無い方

◆ＨＡＲＰトレーナーコース
ねらい：トレーナーとしてメンバーとの関わり方を学ぶ
　　エクササイズのポイントを知る
内　容：エクササイズ体験、ポイント解説、講義
対象者：ＨＡＲＰ体験コースを受講した方

◆ＨＡＲＰプログラミングコース
ねらい：ＨＡＲＰをより有効に活用するための、プログラミングについて学ぶ
内　容：エクササイズ体験、講義、エクササイズ、ウォーミングアップ、
　　アイスブレイク、などのプログラミングについての解説
　　ＨＡＲＰを活用した育成行事についてのディスカッション
対象者：体験コース・トレーナーコースのいずれかの受講経験のある方

◎ 注意事項（受講者の方に予め周知徹底をお願いいたします。）
研修内容の性質上、遅刻・早退を含め変則的な受講はご遠慮ください。
このような受講者には、受付時に受講をお断りしますので、その旨、本人にご確認の上、申し込みをお願いいたします。
研修に影響をきたしますので、期間中の飲酒は厳禁とします。

◎ 申し込み
申込書に受講費を添え、学生担当委員会事務局までお申し込みください。
１１月１７日（土）締め切り（定員になり次第締め切ります）。
キャンセルの場合、必ずご連絡ください。
１１月２４日以降のキャンセルについては受講費の返却は出来ません。

えっ!?
学生担当者報ってwebで読めたの？

天理教学生担当委員会 website

学生担当者報 10月号

投稿日：9月24日

学生担当者報10月号ができました。
いち早くお読みになりたい方、どうぞご利用ください。

学生担当者報はTSAwebsiteにて、
いつでもどこでも何度でも、思う存分ご覧いただけます。
いち早く読みたいという熱意にもお応えできるようになりました。

Happist 11月号　予告

［特集］
本の森へ（仮）

行事報告　道の学生ひのきしんDAY

連載
・教理コーナー
おやさまと若者 ～現代を生きる君へ～　**上田 嘉世**（本部准員）
・信仰エッセー
明日の地図ひろげて　**三濱 靖和**（本部青年）
・Key Person
株式会社モンベル代表取締役会長　**辰野 勇**
・お悩み相談室　**宮﨑 伸一郎**（梅満分教会長）

Happist11 明日につながる学生マガジン

個人宅に直接〈Happist〉が届く個人購読も行っております。詳細は学生担当委員会事務局までお問い合わせください。
※内容は一部変更になる場合があります。

平成24年度　学生担当者大会について

来る11月25日、学生担当者の総会ともいうべき「学生担当者大会」を、下記の通り開催いたします。つきましては、教務ご多忙の折とは存じますが、何卒対象の方々と共にご参加くださいますようご案内申し上げます。

記

一、日　時　立教175年11月25日（日）　13：00～（受付12：30～）
一、会　場　本部第二食堂
一、対　象　教区・直属担当委員長・委員、支部担当者、
　　学生層育成に携わる者
一、内　容　・表統領先生ご挨拶　・来年度活動方針発表　・ビデオ上映
※引き続き、11月例会を行います。
※会場周辺は大変混雑いたしますので、車でのご来場はご遠慮ください。

「まなびば」開催会場一覧　《１０月開催分》

教区	開催日時	場所	担当者	電話番号
佐賀	10月6日14時～7日13時	黒髪少年自然の家	礒部 豊一	080-1738-5976
鹿児島	10月6日13時～7日13時	大島分教会	加世田 洋	0997-52-0105
沖縄	10月6日13時～7日15時	教務支庁	宮里 剛	090-8292-8957
京都	10月13日11時～14日15時	宮津分教会	坂本 敏恒	075-811-1502

☆実施計画書は２ヵ月前までにご提出ください。

青空

ある日の私共夫婦の会話。
（セリフ）
私（満面の笑みで）「笑ってごらん。」
妻（呆れた顔で）「あんたや！」
ひょんな事から、喧嘩（？）になり、その場を回避。いつもの定位置（小さい玄関）へ。腹立ち紛れに手に取った雑誌が婦人会本部発刊の「ウィズ・ユー第二十号」。最終ページ、仙臺大教会長加藤元一郎先生のエッセー「笑ってごらん」。読み進めていくうちに涙が止まらなかった。気持ちを切り替え、妻と再会。開口一番が冒頭のセリフのやり取り。
お道の書物は素晴らしい。そして感動・感激する大切さ。身を以って感じます。
強引に結論を申し上げます。学修をはじめ、学生会行事には感動・感激が溢れています。教祖百三十年祭に向かう旬。まずは素晴らしい本部行事に声を掛けたいと思います。最高の笑顔で。

南大教会　前学生担当委員長　藤井健二